

平成29年度が始まりました

平成29年4月10日（月）午前中は始業式、午後は入学式を挙行し、いよいよ平成29年度がスタートしました。校長訓話の際にいつも話していますが、暦のうえでの区切りである元旦や、学校生活の区切りである始業式等の「節目」を迎えた時には、これまでの行動や成果を振り返り、新たなる目標や志を立てる習慣を身に付けてもらいたいと思います。それと併せて、今年度1年間を過ごすうえで皆さんにお願いしたいことを、それぞれの式の中で伝えました。体育館内で傾聴するだけではわかりにくい内容もあったと思いますので、以下に掲載します。実行できるよう取り組んで下さい。



【始業式で伝えたこと】

ニュースは時代を知る窓であり、そこに見える風景は毎日、刻々と移り変わっていきます。大切なことは、その変化を押さえ、世界がどの方向へ向かうのか、自分なりのシナリオを描きながら、次の展開に備えておくことだろうと思います。…（中略）…時代を見極める視点を持つことは、自らの生き方や職業を考えていく上でも大いに役立つでしょう。学生時代には学校や先生が防波堤となり、君たちを守ってくれましたが、これからは自らのアタマで判断し、人生を切り開いていかねばなりません。自分のことは、自分で守っていかなくてはならないのです。

人工知能（AI）の開発が急速に進み、人間の判断力や能力を超える日が来ると予測されています。しかし、自らの人生を決断するのは、AIではありません。君たち自身なのです。多くの人々があり得ないと考えていた出来事が起こる世の中だからこそ、時代を読むアンテナを高く張り、変化に備えておく必要があるのです。好奇心と学び続ける意欲を失わなければ、きっと人生は豊かになるはずです。

（2017/4/3 日本経済新聞 電子版より一部引用・抜粋）

【入学式で伝えたこと】

本校での生活を始めるにあたり私から皆さんに二つのことをお話しします。

第一に、「**リーダーたるにふさわしい資質と能力を身に付けてほしい**」ということです。皆さんが生きていくのはグローバル社会です。人・モノ・金・情報が瞬時に世の中でつながっていく社会の中で生きていくこととなります。国籍や価値観が異なる多様な人々とチームを組んで人々の良さを引き出し、それらを束ね、成果へとつないでいくことが求められます。グローバルリーダーとしてチームで協働しながら、新たな智を創造していく能力が求められるのです。クリエイティブなものを作り上げていく前提となるものは教養だと思います。幅広い教養のもとに、高度な専門性を積み上げた延長線上に新たな智を生み出していく手がかかりがあるものだと考えます。本校では様々な科目を幅広く学びます。どの科目も知性と感性・健全な心身を育むために欠かせないものです。まず何よりも本校での授業を大切にし、確かな思考力を身に付けてください。

第二に、「**高め合う姿勢を持つ集団となってほしい**」ということです。皆さんは縁あって三年間、生活を共にすることになります。授業や学校行事・部活動、あるいは進路実現をしていく過程において壁にぶつかり、くじけそうになることもあるでしょう。その時は、最後まであきらめずに、自分の持てる力以上のものを発揮することができるのは、互いに高め合う仲間がいることです。これまでの皆さんの人生の中で、出会ったことのないようなものの考え方や伝え方を持つ仲間と出会えます。そういった仲間から良い意味での刺激を受け、一人では乗り越えられない壁を乗り越える集団となってほしいと思います。

（校長式辞より一部抜粋）